滿洲日報

布元寶六吊百至六三吊二百
紅糧價鐵五吊四百文至五吊
共上車三十餘輛
遼東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙 野紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一…
一簞笥
一卓子
一卓子掛
一廚房用戸棚

…
三十圓以上三十五圓
四圓五十錢以上十三圓五十錢
六圓以上十二圓
七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日者每行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室
　　 百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

立神丸 十一日出帆 太沽、芝罘 長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告

賴朝丸 十三日 門司、神戸行
金龍丸、大龍丸、國見丸 臨時芝罘定期
萬成源丸 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

潮洲丸 十一日入港乘客謝絶
南越丸 十四日出帆門司直行
能登丸 廿一日入港
代理店 ブツシユ兄弟商會
東營口公園地横 遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋牌火柴鐘表等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院内 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡舶輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號

係裝運各埠火輪船生意兼賣各割洋什貨釋石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式棧子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧内西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撒庫拉）百合花牌（利利）均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元探買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船

摩耶山丸 賴朝丸 專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客税已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本淸酒一概俱全並有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商光顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等雜物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

三井

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行

電話 第六十六號 第九十一號

鐵道 遼河 裕和盛運輸局

（電話八十一號）
任東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴霄
運輸部主任 高濱藤太郎 謹啓

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今春與日本北海道天鹽木料公司訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之築造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞 不惜本十新到各種木料東洋炸子眞價實以應各主顧局急需 國本主人啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨皆交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特佈週知
營口南永世街北斗洋行東櫃
營口西北大街胡同內西櫃

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書糖各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙訂五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

發賣

料木、杆子 一丈 一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣

營口元神廟街
捌荷洋行（電話一四七番）

稅關手續

一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市内貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇 英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮歳

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構内（電話四六番）
丸重洋行

東三省電報總局廣告

逕啓者頃接上海電稱 各省將軍都統督撫院提鎭藩臬運道臺各關局廳均鑒美屬舊金山地震成災僑寓各國商工民人驟遭慘厄美廷迅救援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰蒙聖慈沛發肆萬兩飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粵商湊集洋伍千元歸美金電匯一面仍偕各紳商多方設法藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅謹此電聞倘尊處本擬籌撥欵項請速滙美京梁使收撥或將欵匯滬交商會彙取收條爲憑代買美金轉滙總祈迅速籌濟要爲 呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京㮾沈敦和任錫汾周晉鑣曾鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈各貴官商惠鑒如有軫念同胞慨籌急賑者請速將欵逕匯美京或上海商會否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民不勝企禱謹啓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料 一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

東京電報

●露國宰相の辭職 豫て隱退の意あり已に辭表を呈出し居たる露國宰相ウヰツテ伯は今回愈々辭職を裁可せられ其後任としてコレムイン氏入閣する事に決定せり（九日午後六時廿分發）

●樺太漁業權の認可 樺太に於ける露國の長期漁業權を認可し我外務省は此程露國に照會する處ありしを以て九日露公使バクメテフ氏は外務省にて珍田次官と會談せり

●兩相の鐵道視察 山縣遞相坂谷藏相は近日全國鐵道視察の途に上るべしと云ふ

●露宰相辭職の別報 ウヰツテ伯及デュルノウオ內相は去る五日辭職を裁可せられゴレミキン（先電コレムイン）總理に任せられたる旨公電ありたり

●文部次官の內定 文部次官は古參の澤柳政太郎氏（目下英國にあり）任命さるゝ事に內定せり

●統監の義和宮招待 義和宮殿下は十日退京せられ十二日伊藤侯の招待にて大磯滄浪閣に向はるゝ筈

●統監と首相の協議 伊藤統監は西園寺首相と倘協議の要あるを以て退京は多分本月中旬ならんといふ

●林駐英大使參內 林駐英大使は十二日參內拜謁仰付けられ御下賜品ありと（以上五月十日發電）

北京電報

●清帝の上諭 戶部尙書鐵良を督辦總務大臣に任じ外部侍郎唐紹儀を會辦稅務大臣に任じ將來全國各地の稅關を管轄せしむべき旨の上諭出づ是れよりロバートハート氏の勢力漸々減ずるならんと

●將軍の報告 奉天將軍趙爾巽氏は外務部に向ひ若槻次官一行との會見の次第を報じ彼等は日本が文官を派して交涉の任に當らしめたしとの希望を訴せりと云へり（以上五月十日發電）

倫敦電報

●米國軍艦の浮揚 米國軍艦ロードアイドランドは浮き揚れり

●露國知事の暗殺 エカテリノズラブの知事オエルタノースキー將軍は暗殺されたり

●ズールー人の擊退 エマニユエル大佐がセテワヨの墓地に向ひ威力偵察をなしつゝありしときズールー人二百喩崖の上より前衛に向ひ突貫を試みしも激戰の後死者六十負傷者多數の損害を加へて擊退せり

●英國外相の演說 英國外務大臣は下院に於て演說して曰く土耳其との談判の結果埃及駐在土耳古代表者は埃及王と會見の時境界はエルラヲーよりスエズを經てアカバに至ると改むべしと要求せしに埃及王は一八九二年四月八日の電報の通り即ちアカバの西三哩の線となすべしと回答せり土耳其はこれに對して此電報はサイナイ半島の西邊に關するのみなりと答へたり英國は本年四月三日の通牒に因りて埃及王の申込みに贊同し十日以內に回答を促がせり（以上五月八日發電）

●英外相の演說と新聞紙 新聞紙は皆グレー外務大臣のサイナイ問題に關する態度を熱心に贊成す

●波斯境界委員 ペルシヤ境界限定委員は土耳其との國境を定むるためにテヘランを出發せり（以上五月九日發電）

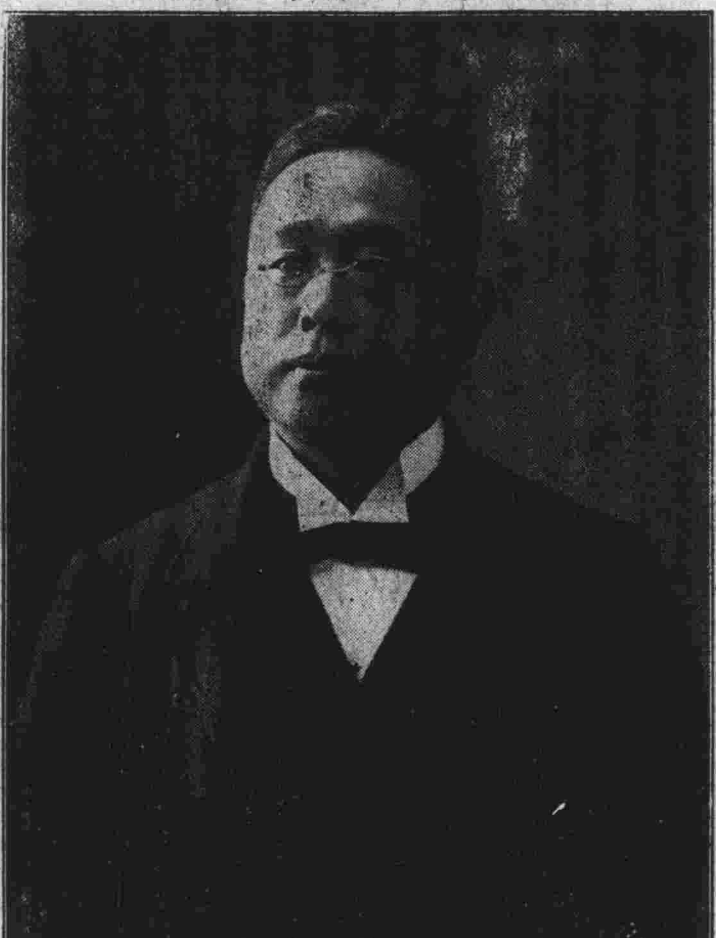
雜報

●鐵嶺通信 銀州生

▲鐵嶺の民心は頗る我れに傾き居れりと斷言するに憚からさる次第に御座候、或は皮想の觀察なるやも知らすと雖も然れとも現に角鐵嶺は我貔貅六十万此所を中樞として扇の地紙形に駐屯し居たりき鐵嶺は實に我最前線の一の策源地にてありし也、我に親近する事最も多かりし此地方、我軍旅駐在其結果として馬賊の害を蒙むる事さらにあるなし久しき間高枕して安を貪りたる此地方、我惠恩に沐浴したる其結果によりて生したる一二の事例を引き試みんに、露店點燈して物を鬻ぐ之れ他地方に曾て見さる所なり、露店夜舖而かも亦普通商估も我日本時計の九時過迄は戶を閉ちさるあり是れ全く他地方に見得られさる現象なりとす、奉天、遼陽何れの地を問はす日將さに沒せんとする時周章フタメキ戶や競ふて閉門す故に日沒後の街路は劇かに寂寥やとして白晝人馬絡繹店頭雜踏せる其跡たに止めず一種凄氣味惡き街路と變せるなり、然るに鐵嶺は否らす夕へ尙白晝の如く商賣す、又支那婦人の外出他地方よりも多し今軍政署に鐵嶺醫院之れを聞くに昨今軍政署の經營せる鐵嶺醫院に支那婦人の診を請ふもの漸く多きにいたれりと云ふ、之を露國時代即戰爭以前より此鐵嶺に居を定め雜貨を營み居たる鹿兒島縣の人野村龍次郎氏（日升洋行店主）に聞く氏曰く露國軍隊の此所に駐屯し露國の勢力日にます／＼熾んなるの時代我れよく之を知る而かも良家の婦女の如き外出は愚か親しく交際其家に出入するものにして妻君は如何なる顏の人なりや娘ありやなしや夫れさへ定かに知るを得さりし矧んや面を現はして外出するおや將又外人の手に豚脾を診する如き夢想たにせさりし所なり云々、現に角鐵嶺の支那人一般に我れに親近するの程度他地方よりも深きものある信して疑はさる次第に御座候

▲更らに鐵嶺の他地方に見得られさる尤も顯著なる一の事例を紹介せんに、軍政署は支那衞生局に議り清國の開業醫をして日本式新醫學を彼れに注入せんとす、議なり每日交代に二人宛清醫は來り鐵嶺病院に見學しつゝある也、目下鐵嶺は支那醫者十四五人あり一日一人の見學にして恰度一週間交代となる勘定なり彼等亦喜んで來り見學而して自分の手に合さる病人あれは連れ來りて治療を受けしむ皮膚病にして數年來治療すれとも治せす愈よ難治と極め居りたる患者の同病院の爲めに全快したる其他彼等のヒの投けたる者にして全癒したる等頻々あり同病院は愈よ支那人の信賴する所となれり實に每日の外來患者六七十人其三分の一は清國人なり以て同病院の彼等の間に信を博しつゝあるを知るへき也

▲日露戰役前に於ては即ち露國の勢力範圍時代の鐵嶺に在りては日本人の居る者六軒人口四十餘人而して多くは醜業者なりき然るに今は百二十戶人口千二百以上と註さる、此所に尤も妙なるは露國時代より我家其我家屋に住居て營業し居たる者一人あり之れも遼陽、奉天、何れもなき異例の事なり即ち日升洋行の野村龍次郎氏之なり氏は三十五年に來り同地に棲み家屋を需めて雜貨を販賣しつゝありしが卅七年二月時偶ま風雲急なり家財家屋賣品等賣飛して歸朝せんとす一同の引上ぐる期に遲れたる故を以て或は彼れ國事探偵にあらすやとの疑ひ受けて獄に投せらる遂に釋放護送旅順より追れて芝罘に上陸せり氏は賣品家財の內一物をも金に換えて携帶する能はす且投獄の不幸を見たることにしあれは囊中頗る淋し芝罘に上陸したるも歸朝する事さへ能はさりき時に芝罘に大阪朝日の戰事通信員法學士柴原龜二氏あり野村氏露語の素養あり且清語に通す舉けて戰事通信の補助員として聘し砲煙彈雨旅順近海に通信船を艤せしめて觀戰せしむ野村氏は旅順開城と共に日ならす芝罘を辭して來りて滿洲の地にあり更らに已か第二の故鄉と茲に居住す氏鐵嶺を去るの當時某清國人に家財一切を托して行けり再ひ來りて之を見る而かも丁寧親切に保管しありきと淸國人の物に對する確實此一事を以てしても知らる氏再び來りて舊知即ち鉄嶺在住の淸人に遇ひたる時の如き舊知等進んで握手落淚せんばかりに之を喜こひたりといふ氏旣に戰前よりの舊知あり大いに夫等の爲めに營業上利する所少なからさる由に御座候



遞信大臣山縣伊三郞氏

●官煙失敗てふ記事に就て 安齋源一郞

貴紙過般報知新聞より拔萃して我が官煙失敗なる記事を揭載さる此記事たるや事實全く正反對の事に屬す聊か之れか妄を辨せんとす予滿洲利源調査員とかいふ名義の下に南滿洲各地を跋涉聊か査察する所なきにあらす我官煙今日の商勢は頗る優勢到る所隆々旭日昇天の勢を以て賣擴められつゝあるを知る而かも貴紙に揭載されたる如く我官煙先きに在り外國煙の後に來りて我に競爭したるものにあらすして數年前外國煙の上得意地たる滿洲に我官煙は軍隊の前進すると共に販路を進めたるもの也實にピーコツクの如きは去二十九年以來今日に到る十一年間營口販路を擴張したるもの也我れは漸く三十七年十一月に此營口に代々木公司の支店を置きたる之れ我官煙の販路を此滿洲に需むるの嚆矢たり其後昨年一月大連に三月遼陽に五月安東縣に七月鐵嶺に本年三月奉天等に支店或は出張所を置きたる也又口付一手販賣店たる江副洋行の開店は昨年四月大連に五月安東縣に七月營口に尙同七月代々木と合同して鐵嶺に開店したる專賣局か大連の民政署內に出張官を派したる如きも昨年三月未た漸く一個年に過きす彼れと比較して日淺きことと見るへき也而かも代理店の設置さるゝもの旅順、金州、大連、蓋平、海城、營口、新民府、昌圖、鐵嶺、奉天、安東縣、鳳凰城、錦州等なり、而して外煙と我官煙の勢力拮抗の狀勢予か觀たる一二の事例を示さんか遼陽は七分三分にして我七彼三、奉天は一歩を讓りて五分五分に見、鐵嶺は四分六にして我六といふの比例なり大連の如きは九と一にして彼僅かに一、此營口の如き流石に外煙の策源地丈けに我未た彼に及はさる遠しと雖も我勢力の波及したる他の滿洲各地に於ては我の彼を輸したるもの現實に之れを見る、予過般我鐵道受領委員一行に附隨して公主嶺迄往復す我官煙の朝日は同地にて一個十錢に賣捌かれ四平街にては七錢に販賣されつゝありシカモ我双鶴印多く店頭に並列せられあるも彼の孔雀印や少數なり昌圖も然り開原亦然り彼の外煙の輸入は三十五年に於て十七万兩、三十六年二十二万兩、三十七年四十万兩なりと之れに對し我官煙の數字を上けて其販路の隆盛なるを證明出來得さるを遺憾とす是れ事や商略に關すれはなり然れとも期して讀者に之れを報するのことあるへし現に角我官煙の一時に如斯販路を擴めたる所以のもの全く貔貅百万[illegible]る所に駐屯す假りに一人一日十本宛を燻らすとするも一日四万本此等の煙は全く南全滿洲に渡りて特別廣告となりて彼等に之れあるを知らしめたるものなり而かも外煙に比して價格や低廉將又販路の擴張に苦心經營する彼れに優る所のものなきにあらす矧んや我勢力範圍なるをや一言記して我官煙失敗てふ妄を正さんとす

●安奉鐵道の近況 安奉鐵道の料金は奉天より安東縣迄日本里程四十四五里一人前五圓にして時間は一晝夜を要す每朝六時に奉天を發車し途中下馬塘に一泊す蓋し夜間の運轉を許さゞればなり每列車共客車は僅に一臺若くは二臺にして餘は凡て無蓋貨車也客車の構造は普通の貨車と大差なく唯た形に於て小なるのみ即ち二十四五人も乘れば充滿すと云ふ昨今奉天驛に於ける日々の乘客は日本人二十人前後支那人七八十人ありとなり

●橫濱丸の大連航路開始 日本郵船會社所有船橫濱丸は今回神戶を起點とし門司寄港大連へ定期航海を開始することゝ爲り去る六日第一次航海として神戶を出帆し七日門司若十日大連に着したるが今後每十二日目に大連を出帆すべしといふ聞く該船は噸數二千六百噸にして一等客室五十餘人二等三十餘人三等二百餘人を容るべき最も完全の客船なりといふ

●奉天の農政顧問聘用 奉天將軍は豫てより農政顧問として日本人一名を聘用し東三省の農政を振作せんとの意あり數次我當局との間に交涉往復ありたる結果豫て前來營せる臺灣總督府技師橫山壯次郞氏を聘用することに內定したる由にて氏は新渡戶博士と共に一先づ大連に赴き民政署と二三の打合を了し再び奉天に引返すべしといふ

●落合參謀長の來營 旣記の如く關東總督府參謀長落合少將は昌圖へ出張の歸途昨夕新民府より來營直に軍政署官舍に入れり興倉軍政官以下署員河北停車場に出迎ひたり

●田庄臺氷の發賣 田庄臺貯氷公司の發賣に係る天然氷は昨年の解氷後大遼給水公司か牛家屯の碇泊場司令部の命に基き水質の最も良好なる遼河の上流十五哩の地に大小四個の貯水池塘を堀鑿し渡邊の方法に依り一晝夜の間に於て能く一千噸以上の淸水渡過しまとして日々營口に出入する幾十艘の御用船に供給し以て其の鑵水及飲料水に使用せしめ餘水は更に一般公衆に配分し營口に於て尙は斯の如き淸水を觀るを得へきかとて官民一體に甚た珍重せられたる貯水池塘を從來大遼給水公司と關係淺からさる余村松之助氏か讓り受け昨年末來嚴冬の寒氣を利用し其の貯水池塘內の渡過水を凍結せしめ更に貯氷窖を造營し以て今日に貯藏せし者にして無色透明實に得易からさる淸氷にして營口に於ては殊に珍重するに足ると云ふ倘ほ以上貯氷窖に貯藏しある天然氷は約二百万斤もあれは優に營口市內在住氏一般の需用に應すへしと云ふ因に發賣元は元神廟街二九八號（成功号二階）田庄臺貯水公司販賣部にして不日販賣を開始すとなり

●汎愛扶殖會員の出發 豫て義金募集の爲め來營滯在中なりし大日本汎愛扶殖會外務部長松谷克治及會員奈良敎文兩氏は本日奉天に向ひ出發せり

投書かご

▲正金銀行へ一寸お尋ね致します第一軍票の小票は何故步か付きますか第二兩洋人の爲替を組むのは日本人支那人に對するよりも一層便利のやうに見えますがそれは何ういふ譯ですか第三何故に稅金を小票で取らぬのですか又支那錢を取らぬは何故ですか右御答辨を願ひます（營口の一紳商）▲某商店員に告ぐ如何に月夜とはいへ時は早や十二時過ぎ何れ色町の素見戾りならんイムベネスにボロを隱くし中折帽眼深に鎖せし表戶を叩きて我が夜半の夢を破りしは誰？君が尋ねし品物は君が店に多々あるにあらすや借問す君！君が先夜の行爲は醉興なりしや眞面目なりしや返答したまへ（一小僧）▲近頃營口の一流行であるか知らぬが床屋へ行くと鬢端をチヨキリとチヨン切つて仕舞ふ見ツともなくて困まるが迂濶りして居ると直ぐ剃り上げる床屋さんチツト注意をして貰ひたいものだ（切られ男）▲鉄嶺の彩票は何う爲つたんだらう四月の三十日には開票だといふ事であつたがもう十日も經つが何の音沙汰も無い異逆詐僞でもあるまいが餘り遲く爲つては今後の信用にもかゝる（怪訝生）▲歲三十二英語の心得あり何業を問はず職を求む給金望まず雇入の御方は此欄にて御知らせを乞ふ（ＨＫ生）▲近頃投書が皆長くて困まる已むを得ず沒書にしなければならぬ事に爲るから以後は成べく簡明に願ます（本欄係）

●乘車券を胡麻化す奴 東京本所綠町の土地家屋賃貸仲立業染谷某は此程營口迄自己商業の爲め來り夫より奉天に赴けるが奉天にて一策を案し滿洲利源調査員といふ名刺を持ち停車場に到り余は斯の如き公職あり乘車券をと請求せり然るに驛員は直接當驛にては之を授受するの權なし兵站部に計はれたしと茲に於て彼は兵站部を胡麻化し旅行券及び乘車券請求書を得まんまと二等客車に乘り濟して營口まで歸れりコンナ奴はドシ／＼處分すへき也

●奉天の七美人 花なき里の奉天に蝶よ花よと謠はるゝ生け花のあるぞ可笑し三河樓の知津子、胡屋の花子、白壁館の榮吉、胡屋の正美、凱旋館のお琴、滿月のお靜、奉天館のお文、其滿洲式なるは到底脫すへくもあらねど窈窕嬋娟たる邊りから纖手細腰起居振舞先づ以て七美人の稱號を奉つるも妄ならさるへきか就中お琴はヲカラ節上手、正美の客に同情の深き、花子の理想の高さ、榮吉の薄情、お靜の指環、知津子のお喋り、お文の步き振り一長一短は遂に免れさらんも孰れも特種の性格を發揮する所以の特異徵たらすんはあらす枯木も山の賑ひといへは瀋陽狹斜の巷を飾るは先つ是れにて無疵とやせん

火車
關內外鐵道 上り 營口發前八、二〇 七、〇〇 溝幇子同九、四五 九、〇〇 錦州同后三、四五 二、〇〇 下り 山海關發前七、〇五 四、四五 錦州同后三、三五 二、〇五 溝幇子同三、四五 四、〇〇
東淸鐵道 上り 新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七 下り 溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五七
上り 營口發前六、三〇 后 大石橋着前八、二〇
諸鐵工製作 ブリキ 川鐵
謹告 小生儀
廣告取消 滿洲日報第二二二號二二三號五月四日五日
天氣豫報 營口地方 自十日午後六時至十一日午後六時

小説

新作小説　おとし胤（五十九）　德田秋聲

もし、隠れるところがあツたならば、光は隠れたかツた。もし、消えられるものであツたならば、光は消えたかツた。けれども隠れることも出來なければ、消えることも出來ない。絶躰絶命である。

光は、たゞへどもどして、狼狽ゐるばかりであツた。その辛い狀をぢろりと見て、夫人は、冷な笑を唇に漂はせ、

「光さん、貴方は何んですね、立開にお在なさいましたね。」と何時ものやうに、妙に改まツた、妙に叮嚀な語調で「ですけども」貴方が、立聞なすツたところで、何んの益にもなりますまい。田舍のお家と違ツて、華族の家といふものは、然う容易く何んでも取定めることの出來ないものですから………　ね、可うございますか。」

「いゝえ、阿母樣、いゝえ………　私、立聞致して居りましたのではございません。」と光、はもうおろ〳〵聲になツて、やツと言開くと、

「然うでございますか。そんなら此處へ何しにお出なさいました、何の用があツて在ツしやいましたの。誰方か、貴方をお呼びなすツたのでございますか。」

「いゝゑ、あの、誰方も………」

「呼んだのでは無いでせう、ね、然うでせう。然うでせうとも！………　そんなら何しにお出なさいました。」と急に聲高になツて「幾ら田舍に育ツて、お躾が無いと申して、餘り無作法ではございませんか。殊に御來客もありますのに、何んの事でございます、怪しからない！」と一言は一言より鋭い。

「はい、つい、あの………」と謂ツたが、胸が塞ツて、後の言が續かぬ。はら〳〵と淚を零して「何うぞ、御免遊ばして。」

「いゝえ、お詫びなさるてとはありません。」と皮肉に出て「つい………　とは何んでございます、何うしたのでございます。貴方の恥は、家の恥でございますから、お氣を注けなすツて下さい。田舍のお家にゐた時のやうに、氣儘をなすツては、私までが顔を赧くしなければなりません。」

と謂ツてゐる時しも、ぎいと客間の扉が啓いて眞ツ先に現はれたのは、夫人の實兄なる櫻島伯爵。

五ツ紋の黒魚斜子の羽織に、白茶の仙臺平の袴金縁の眼鏡を電燈に煌つかせながら、づいと廊下に出て、夫人と顔を見合はせて、それから苦やしげに光の方を見て、

「何かね。」

と夫人に訊ねる。

いゝえ、もう毎度のことでございますけれども、田舍の癖を出しまして困入るのでございます。

「ふゝゝ。」と櫻島伯爵は笑出して「爲方が無いわ。雀は、百になツても跳を忘れぬといふおやないかの。」

「それは、然うでございますけれども、それでも餘り何んでございますから………」と謂かゝツて「兄樣、もうお歸り遊ばすのでございますか。」

「むゝ、とても俺の力に適はんから………」と傍を見返ツて「何れ阿母樣から話もあるぢやらうが、瀬鹿の家も、もう末ぢや。挽回の見込が無いの。」

と抵觸がましくいふ。

その時、母堂を始めとして、會議の席に列なツた、吳羽伯爵、古代子爵、川戸子爵等も廊下に出で、づらり肩を駢べて立つ。電燈は、此の紳を照らして、一段の光輝を放ツた。會議は、衝突また衝突、終に破裂となツて。茲に諸公は、蹶然起ツて會議の席を去るのであツた。

母堂は、さも憎さげに、また、さも侮蔑ツたやうに、光をなかめしに掛け、

「これが、何うして、此處へ來て居りましたのおや。皆樣の前に恥の釜元を御覧に入れやうとてかの。」

●遼河運河開鑿議の可否

遼陽　杜萬頃

余は曩に遼河開鑿の議を建つ、爾來友人故舊の雖黃論隣を忝くす、先輩平岡、神野両君及び親友中辻、小泉　君等の論評批は、曩時の貴紙に掲く頃日、衆議院書記官長林田龜太郎君は、余に書を贈りて曰く

遼河開鑿の議を贊成す、余は戶水君の健在を祝賀すと

又、石川縣知事村上義雄君も、書を付して、曰く（前畧）老兄も追ゝ滿洲通に化成せられて、遼河開鑿の議は、未た其地を踏まされと、一讀敬服の至に御座候」云々

遼陽稅捐總局長趙孚君は、斯議を閲讀して余に謂ふて曰く、

先生詩家兼經濟家也」と

澤井組總支配人小松海藏君は、斯議に就き、曩に反駁書を贈り（紙に掲載す）且つ余に語りて曰く

遼河開鑿策は、貴兄畢生間の大不出來なり、宜しく撤回すべし」と

大坂朝日通信員安齋源一郎君、曾て昌圖株式會社長松本龜太郎君に語つて曰く、

萬頃の遼河鑿開議は、恰も三遊亭圓遊等の落語の如く、御題「新年河」にて、落を取んとて、爾く遼河を捕へ來りて無責任の駄法螺吹く」と

以上は斯議に對して今日まで聽く處の批評なり然も一是一非定らす而して斯議に對して利害の關係を以つ遼陽營口其他遼河沿ら岸に生息する諸君子の評隲を未た然かす敢て至教を待つ

廣告

緊急廣告

在留邦人子弟小學部（當分尋常科）愈來る十四日より開學候條入學志願者は至急手續させらるへし

營口瀛華實學院

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲妊婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎

森病院（電話一五五）

資本金參拾萬圓　日清合股

營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社　**營口分局**

總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司出經官准認眞開辨左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路極要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧衿祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特此謹白　倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按御地市價付補

材木販賣　荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

美味安價西洋料理　牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

銘酒劍菱　新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也

遼陽停車場向と　**池上出張店**

和洋御料理　一力

舌代

弊店儀開業以來各位引の御立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席装飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候

樓主　敬白

瀛船出入帆案内

南越丸　十四日入港門司行
潮洲丸　本日入港
客船　**鷹取丸**　千八百七十五噸　速力十二哩
十日正午出港門司直行
内地行載戾ノ荷物幸便有之候間至急御申込被下度候

輸出入稅關手續
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業

西北街　**德重洋行**

開業廣告

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

月　日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司

料理

滿月　平野町（電一六二）
滿月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

一稅關手續
一船舶陸揚荷物
一日本帆船
一倉入荷物
一委托販賣
一荷物保管

取扱

營口永世街　市街鐵道驛前
精心洋行

右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候
尚日々ⓑの腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少不拘御用命仰付被成度願上候

會席料理　三日月

營口警務課前衛に入へ

高野孟矩法律事務所

大連市警部通二丁目五百廿五番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戶口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南豐第三十六號
北斗洋行質屋部

大勉強

一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前銀三十錢より
一まめめし　御一人前　二十五錢より

右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候

營口元神廟街二〇九號
月　日
翁亭

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候

營口二本町
梅廼家
田村瀧太郎

和洋雜貨　盛進商行

新着
椅子　卓子。窓懸。
卓懸。花莚。マット。
油多加織。ビロードセン。

御料理

板場新來了料理は高尚ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ**雪月花**ノ會席ト仕除ヘ御意ニ從ヒナンデモ
ゲンシンモヅス
ビヨガイ

まつのや

新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます

まつのや藝妓　ふで
仝　松吉
仝　二〇か
義太夫　牛莊

御客樣方

新荷着

▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

GERMANIA BRAUEREI, TSINGTAU

Light Beer after Pilsener Make.

Dark Beer after Munich Make.

in barrels of 25–50 litres . . . per litre $ .28
,, cases of 48 1–1 bottles . . . ,, case $11.50
,, ,, ,, 80 1/2 ,, . . . ,, ,, $13.50

JULIUS JASPERSEN
Sole Agent for Manchuria.

青島釀造獨逸ビール一手販賣廣告
ペルシナー種ライトビール
ミニヒ種黑ビール
樽各種アリ
二五リートル入ヨリ五〇リートル入マテ各一リートルニ付廿八錢
大瓶四ダース入一箱十一圓五十錢
小瓶八十本入一箱十三圓五十錢
滿洲特約一手販賣店
營口 德茂洋行
支配人 ジユリヤス、ジヤスパーン

各國高等雜貨
電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍數品澤山
營口永世街
小川洋行雜貨部

營口永世街第廿八號
白米、㊉醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約其外和洋酒類
(營業 無比廉價販賣す)
大原洋行

大日本政府特定
營口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

(營口永世街)
回天堂三木大藥房
存案 天 招牌
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶材料
●肥皂(胰子)牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●紫醫藥應用所有一切各貨一應俱全
(電話百九十二番)
凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤尚此佈告

生徒募集
招入學生
營口瀛華實學院
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し聊に督促ある學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午四點過期不候特白
營口瀛華實學院

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品々各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

東營口西北街
裕和盛
電話八番
東清鐵道
遼河貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール、日本酒澤の鶴、洋酒、食料品、和洋罐詰、食器、內外煙草、葉卷、エジプト、文具、化粧品、金物類、肥前白米、醬油、酢、木炭、其外色々
御並に小賣
彩票
每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話三六番)
發賣
材料 木材 梯子 板
塩川商會
遼陽小西門內
鹽川商會
●建築
外に
用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

營口豐濟門街李俊宅前
ペンキ塗請負 京阪組
榎本康平

一關內外盧漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 # 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)
卽席和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月 日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 高砂ホテル

一、稅關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場 宮原公司
時計 北店 三階 二ノ 雙掛

營口○大○石橋
○海城
□湯崗温泉 全停車場
○遼陽
○奉天
滿洲第一湯崗温泉
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御淸康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
敬白
營口二本町
祇園閣旅館部
主人
(電話二四四番)
各位

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目)
(電話百二十七號)

千客万來

時刻表
開行
山海關發前八、一五 五、〇〇 北京發前八、〇〇
塘沽同后二、二〇 四、一〇 天津同 一一、〇九
天津着三、三四 五、三五 塘沽同后二、二一前一〇、四五 六、二五
北京〃六、四五 山海關着 六、二〇 六、一
大石橋發前八、〇五 后二、〇五 大石橋發前七、三五后一〇、三五
南關嶺后 九、〇七 翌后三、〇七 奉天 同后三、五七前 六、五七
大連着同 九、五〇 同 一、三五 鐵嶺 着同七、三三同一〇、三五
昌圖 着 一、三三

土木建築用鐵材料其外鑄物諸般
會門街東
喜場

永世街 東洋醫院 山田長

（現時滿洲撲所在地建物）賣却入札云々は事實の間違ひに付き取消す

報

昨日の氣溫
最高溫度六十二度　昨年と比 低十度八
最低溫度三十七度　低九度三

宮門抄

十三日 吏部 翰林院 正黃旗值日 吏部引見六十名 廂白滿十七名 廂白漢 名 雲南知府英傑謝恩 溥良薩廉前往東西陵請訓 慶寬崇康伺候 召見 吏部呈進夏季揹紳 召見軍機 英傑 慶寬 崇康

上諭恭錄

十三日奉
上諭浙江衢州鎭總兵員缺著吳杰補授欽此

奏議

東撫楊奏推廣巡警分設警務學堂謹陳籌辦情形摺

奏爲東省推廣巡警分飭添設警務學堂謹將先後籌辦情形恭摺具陳仰祈
聖鑒事竊准巡警部咨各省現辦警察亟須設立學堂實施教育應將現辦情形據實覆奏等因臣思警察頗近周官制度各國視爲行政機關 朝廷增部集權綱維總挈各省當乘時整頓冀臻美備之觀伏查東省警務自光緒二十八年設局開辦遴派弁兵分赴京津入堂練習畢業回東分授職役隨就省城設立學堂選練應用是爲巡警造端之始嗣將兗曹登三鎭制兵改編巡警隊以煙台濟甯兩處地當衝要所編警隊分隸該管道員就近兼轄其餘仍歸三鎭統帶分別駐巡是爲陸軍改練巡警之始又附近膠濟鐵路及小清河南北兩岸向撥防營彈壓自武衞右軍先鋒隊抽調編練不敷分撥隨即添募馬步巡軍分段設防是爲調撤防營改設巡警之始經歷任撫臣奏明在案臣到任後詳加體察從前創行未久尙難普及程功惟東省爲海陸要疆形壤遼闊對於內政則民俗强悍綏靖爲先對於外交則路礦繁興保安爲要計惟注重警務一律興辦庶策地方自治之效以爲安內靖外之方當飭司道等寬籌經費認眞添練先就省城內外分設之局舉辦四鄉巡警詳訂章程通飭各屬就地籌辦各於本城設立警務學堂自省選派畢業生分往教練復於省城學堂招考文武官學生一百五十名專習警察規則旁及法數體操各門以學習六月爲期考選合格再行派赴各屬襄辦警務開辦以來臣每督飭在事員弁盡心研究務使一弁一兵咸知應盡職務應守法規期不致於闊疏從事至各屬設堂開辦現據稟報者已有八十餘處風聲既樹可望次第普興警務爲專門學科全賴造就人才以資任使省學堂爲各屬模範尙擬另招新生專習完全科學備充高等警員之選此籌辦全省警務情形也若夫統籌全勢擇要以圖凡交通衝要之地及著名强悍各屬尤當因地制宜加意布置沂州之安東衞界連南部沿海要隘極多匪徒出沒靡常當經添設警隊派委該處都司就近管帶以資巡緝膠濟鐵路巡警本關緊要自德兵撤防後環界內外歸我保護責任尤煩前經具奏添設巡警弁兵七百餘名督飭認眞巡護自膠高撤兵以後益復加意愼重近來鐵路一帶商民來往便利中外相安防範尙稱妥密兗曹兩府俗悍盜多巡防喫重當已奏設巡警中學堂各一所特派道員總理其事即以巡警補助緝捕增其見識廣其出路冀弭盜風曹兗兩鎭營兵前經改練巡軍核與警制不盡相符近來該屬警察均已就地招練此項巡軍幾與防警無異現改爲添練巡隊仿行軍隊辦法專任緝捕之責聯絡防營不任則此失彼仍當責成地方官統辦警務以期畫一整齊漸收實效此又擇要添改巡警之辦法也所有一切經費原就裁兵節餉項下動支嗣因逐漸推廣不敷支給復由銅元餘利及百貨釐金各項內提撥應用據巡警局司道詳請具 奏前來臣維巡警爲立政根基東省籌辦多年規模早具必飭普設學堂辦理較爲扼要惟當隨時整頓實力推行務期共明警察原理不徒鋪張形式而相貫以精神應望日起有功以仰副 聖朝乂安區宇保衞民生之至意除造詳册專咨警部備查外所有東省推廣巡警添設學堂緣由理合恭摺具陳伏乞 皇太后 皇上聖鑒 訓示謹
奏奉 硃批巡警部知道欽此

北京電報

●上諭管轄各處稅關 聞此次皇上特下諭旨以戶部尚書鐵良任督辦總稅務大臣以外部侍郎唐紹儀任會辦稅務大臣嗣後管轄全國各處稅關云

●趙將軍電外部 奉天將軍趙次帥電達外部報告日前與日本派員若槻次官會見之情形且告以日本有特派文官辦理滿洲交涉事宜之意云（以上西五月十日發）

東京電報

●俄國宰輔易人 俄國宰相維的伯爵久有挂冠之意日前已捧呈辭表於俄皇俄皇知其辭意甚堅遂聽其乞休即以科列穆因君簡入臺閣襲其後任云（西五月九日發）

中外要聞

●俄撤駐滿州兵問題 俄督克列特哥夫大將繼李涅維齊將軍之後調任遼東總督以來施其侵略手段任意蹂躪條約擬緩期撤兵大動世界公論是爲中外人所共知也茲聞確實消息云俄國政府雖聲明在限期內一律撤兵而實擬緩期撤兵仍然如故刻已撤退回國者爲數無多以目下情形論俄軍不能於限期內將兵撤盡瞭瞭明矣又聞外交界消息云俄國已於日俄和約內宣明限期撤兵故未能公然背約然其不願撤兵之意洞如觀火故名雖撤兵實多留其兵改爲鐵路屯兵以留將來侵略地步故於限期後東清鐵路屯兵比較目下不啻倍徙也此事雖固係背約舉動然彼有所藉口頗難據實力爭又云中俄議約未辦結之時俄國並不肯撤兵擁重兵以爲要挾地步云云總而言之俄國撤兵問題實我國焦眉之一大問題也當軸諸公不速講對付之法則國朝發祥之地恐復被强俄佔奪矣

●美擬簡駐東領事 美國夙提倡門戶開放主義迨我外部於中美商約聲明奉天安東開爲商埠即簡任領事以預備開埠適値日俄失和未達目的以及今日日下日俄講和逐漸撤兵而中國亦將漸實行開埠故美政府決計擬簡熟悉外交通曉商務之幹員充任哈爾賓奉天兩處之領事以振普美國於東三省之商務想不久將見實行而駐安東領事暫從緩辦

●俄使藉端邀求利權 聞官場消息云日前俄使璞科第君聞英藏條約已見辦結即赴外部探詢藏約內容並抗議略云俄國於西藏夙有密接關係非英國利權可比故貴國如允英國以特別利權俄國亦邀求他項利權以爲代償等語外部諸公因此頗形惶恐又聞俄國之意欲以藏約爲要求地步在伊犁新疆佔取特別利權一面欲擁達賴喇嘛入藏利用藏民景仰達賴之心收攬全藏人心驅去英國勢力而自代之故將來西藏爲英俄角逐之區兩國傾軋益加劇烈云

●星子縣匪揭竿 南昌電云鄱陽星子縣有匪徒揭竿起事滋生風潮由贛撫飭李軍門前往彈壓又添調湘勇三百名以便勦撫

●會議籌設製造廠 聞商部日前會議現在各軍改換軍服需用甚多且車衣靴帽與糧餉責重齊驅非設立專廠不足以供所需況軍用各件非他物可比若不自行製造漏巵不堪設想擬即籌款設立製造廠延聘東洋教師招考學生分門學習製造軍衣庫褂氈毯手套皮靴皮匣皮帶暨行軍必需之物以利軍用而保利權

●滬犯同盟擬逃 日前下午於上海工部局牢獄所有囚徒私通聲氣同盟脫獄乃持廠內之器具群起大逞兇勢擊斃印度獄吏一名傷其二名又有外國人一名亦受傷於是獄吏執槍彈壓槍斃囚徒二名傷十二名刻已形平靖

●英欲與土開戰 英政府對土耳其國移交最後通牒限十日間促其覆答並有英國海軍提督做列斯發杜藍晉登普理地納三君已奉命統率巡洋艦四艘滅魚雷艇一隊均駛抵于麻爾達埠刻已離開該埠正前往比羅烏斯埠之際

雜報

●犬尙知恩 關帝廟東南第四區所屬居民張姓某乙同胞兄弟五人早失怙恃多賴其兄撫而成人奈甲終身鰥獨年逾古稀客臘忽得痿症臥牀養痾初時乙少供食飮久而厭嫌甲雖號呼饑渴絕無以粒飯滴水致前者數日尋斃乙藁葬之乙有一犬丈若貍奴豢養至愛乙每街游犬必隨之或時遺於家犬必蹲伺門首見乙來則躍而前舌舐尾搖舉兩蹄抱乙股親戀非常詎甲斃月餘乙擔水踏於門外亦如病痿醫葯罔效尋斃家人治喪有子十齡守於苫次不知慟哀惟犬逵其靈寢不時哀鳴且漣漣流涕次日含殮犬猶哀鳴撞棺數四乃已次晨發殯其子引旌在前而犬嗷嗷哀鳴柩下踵隨三里許至瑩迄未止聲孰紼戚友多人無不稱奇迨封穴時犬更叫嗥奮撞墳土不已現於張家纍纍若喪魂魄從未見與他犬吠羣比鄰及爲歎息蓋乙賴兄撫育毫無恭敬之心即飮食小節且靳而弗與較之此犬之哀鳴戀主幾不欲生不大有天淵之別乎如乙者則眞犬之弗若矣

●會水時行 近日本埠客商出會水銀者甚少以致加色連次跌落惟向天津會水照前加色不甚差等每千兩昨日市行給收主加壹百壹拾兩向上海會水每千兩與收主加色四十九兩向瀋陽每千兩加色二十二兩向寬城子每千兩加二十五兩向吉林每千兩加三十四五兩向錦州會現銀壹錠加色五兩六錢本埠現實銀每錠加色四兩八錢小洋錢七十五元四角換爐銀一錠大手票壹元換爐銀七錢四分八厘云

●行車肇衅 昨午有一推花旗布之小車至大魚市口南街忽被大車碰倒將花旗布捆跌於泥水之中二人爭論互相毆打旋經來往行人從中籌畫勸解令車戶出洋一元以作包補之費其事遂寢兩相散去云

●豆餅現行 昨日妥出現價豆餅拾三元八角共妥三萬片

NEWCHWANG, FRIDAY, MAY 11, 1906.

Maj.-Gen. T. Ochiai, Chief of Staff of the Kwantung Viceregal Office arrived at the port last evening on a tour of inspection and is a guest of Lt.-Col. Yokura.

We learn that, owing to press in work awaiting his attention on his recent return from a protracted travel, Mr. H. A. Bush will not be able to start for the Tientsin races before Saturday morning. Mr. Stewart has had to put off his departure also and will take the same train.

Mr. E. C. Cotes, correspondent for the "Daily Mail," London, came to Newchwang, on Wednesday last and is staying at the "Manchuria."

The Rev. Mr. J. Omelvena of Hsinmintun is at the port and is staying with Mr. Carson.

A local paper of Nagano, Japan a city situated at 2 hours' ride from Karuizawa, the popular summer retreat, announces in a late issue the death of Mrs. Scudder, the wife of Mr. Frank Scudder, an American missionary resident in the city. The demise occurred on the 22nd ult., in Tokyo where the deceased had been sent for treatment. The burial service was held at Aoyama Cemetery on the following 25th.

We offer our sincere condolence to the bereaved widower.

Mr. and Mrs. Geo. Gleason will leave the Customs jetty at 1 p.m. for Niuchiatun to take the afternoon train for Tairen *en route* back to Osaka.

For all Mr. and Mrs. Gleason have done and are going to do for the Japanese soldiers in Manchuria, we owe them a debt of gratitude.

We wish them increasing success and happiness.

One evening while here, Dr. Nitobe has cited in the course of conversation what he has called an interesting subject for psychological study.

Having no children by Mrs. Nitobe, the professor has adopted a nephew for his son. The young boy by the name of Yoshio is only 14 years of age now. At the age of 6, the child was taken to America by his father in his travels for pleasure. The strange things in the foreign land seemed to suit the youngster exceedingly well. 6 months had barely passed by when his father found occasion for a severe lecture to the naughty boy. It was given in Japanese in a manner calculated to drive it home with considerable force. But the boy only looked dazed, betraying nothing of the effect looked for.

On closer examination, it was found to the professor's astonishment that the child had forgotten all of his Japanese, while his knowledge of English that had become his sole medium of expression was yet very meagre even for a child for his age.

One day in school, the teacher asked each pupil what colour he liked best and why he liked it. One named red because of its being the colour of the rose. Another prefered yellow out of the love of the chrysanthemum, and so on. When Yoshio's turn came round, he boldly came out for green, explaining that his choice was based on what he had heard of his native country Japan as being green with growth all the year round.

The artless love of his distant fatherland so eloquently manifested offhand by a mere child who remembered nothing of Japan nor a word of Japanese, appealed to the poetic mood of the good teacher who composed a beautiful verse under the inspiration of the moment and sent a copy to Dr. Nitobe.

The young boy has been at home in Japan for nearly two years, but has made very little progress with his Japanese. His father thinks of sending him back to America shortly to complete his studies.

Tokyo Telegrams dated Yesterday.

H.I.M. the Emperor received in audience Ambassador Hayashi and conferred on him several handsome gifts.

Japan has recognized the long term fishing rights in Kabafuto waters claimed by a number of Russians, and has communicated with Russia on the matter. M. Bakhmeteff, the Russian Minister, met Mr. Chinda, Vice Foreign Minister on the 9th inst.

Marquis Ito who stays in Tokyo following his attendance at the Grand Military Review will leave the Capital before the month is over.

Mr. M. Sawayanagi now in England to fill an engagement for a series of lectures is slated for Vice-Minister of Education.

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）
料理 第一樓

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番）
料理 高砂亭 店主 片山小みつ

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊沙門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號
料理 第二金城ホテル 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園 永世街百二十七號
旅館 澁谷旅館 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 並ニ溫泉 毎日新湯 一力 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案內

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清俱樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側 溫泉付大勉強キレーデヲイシヒ（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話 號） 主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館
牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

旅館料理店 旭館本店 奉天大西關
旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉（電話 號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團揵

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽俱樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋御料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

注意

英國製二連銃中古附屬一切賣却したし御望み之御方左記の所へ御一報被下度
日本郵便局私書函四號 W N 生

一和洋御料理 遼東館 遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

御料理 旅館 扶桑館
奉天大西関大什字街 第五分局千〇六十八号
館主 堀田ハル 電話 号

奉天小西關新來當街々 御料理本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話二〇）
營口永世街 御料理支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理支店 金城館
大連市吉野町 御旅館支店 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡て注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候
猶ほ奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全く御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとこゝに一言申添置候

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位様

爲替相場（五月十日）
日本向 百〇一両七十五錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一両二十五錢（同）
天津向 一百〇二両八十七錢五厘（同）
芝罘向 一百〇三両五十錢（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一全狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一滿圓三枚組 百枚 十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一座ブトン十帖 六圓九十錢以上六十五圓
一疊表 二圓六十錢以上三圓
一麻裃通 十枚 八圓
一綿報通 仝 一疊敷 三圓 三圓五十錢

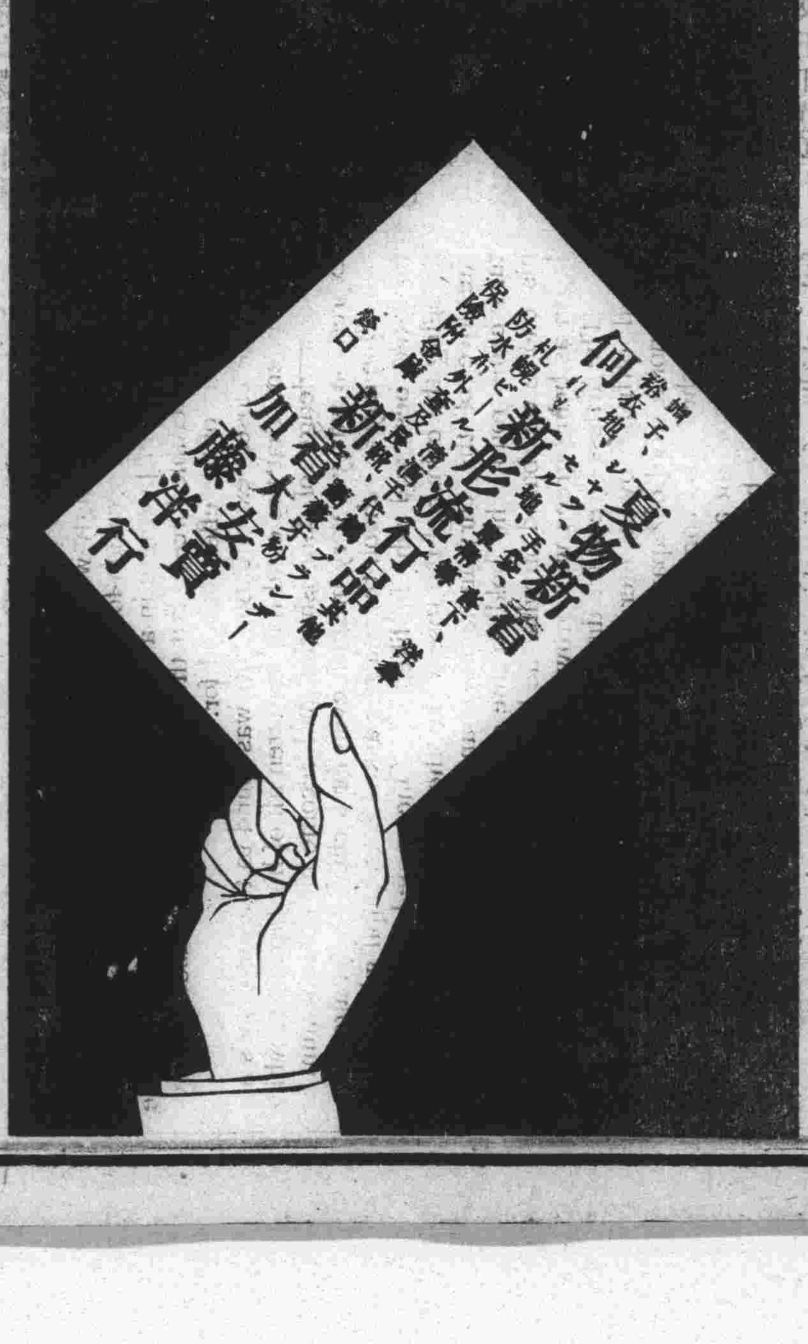
業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致し從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷 幷に製本

弊所特色
●印刷鮮明
●價格低廉
●叮嚀專一
●期日正確

營口入口永世街東二本町角
川本活版所



新荷着
高等麥酒
スペシャルライト
スペシャルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

第二回新荷着

金升洋行
盛進商行

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.20 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 銀四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙